

## 第2 事業編

### 1 保健衛生

#### (1) 健康づくり

健康の保持増進を図るためには健康づくりのための3要素である「栄養」「運動」「休養」のバランスのとれた健康的な生活習慣の定着が重要である。このため、地域と行政が一体となって健康づくりを推進している。

##### ① 健康づくりの普及・啓発

「健康くれ21」計画に基づき、健康くれ体操の普及、ウォーキングの啓発（健康教室の開催等）を行った。

《健康くれ体操の普及》（単位：回，人）

区分	回数	参加人数
2年度	63	1,631
3年度	65	1,626
4年度	104	2,872

※地区で行う健康教室，定例会等で実施

《ウォーキングの啓発》（単位：回，人）

区分	回数	参加人数
2年度	14	631
3年度	20	933
4年度	32	1,396

※地区ウォーキング会のうち，保健師等が参加したもの

##### ② 健康づくり事業の実施

#### ア 食育教室 ～朝ごはん食べようキャンペーン～

食育に視点をおいて，幼児期から健康的な食習慣を身につけるため，保育所・幼稚園の保護者及び指導者を対象として食育教室を開催した。

(単位：回，人)

区分	合計		講話・エプロンシアター (保育所・幼稚園等)		食育啓発 (健康教室・健診時)	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
2年度	172	2,914	1	8	171	2,906
3年度	239	4,570	4	27	235	4,543
4年度	304	5,209	2	21	302	5,188

## イ 喫煙予防

学校現場において、喫煙によって起こる身体への影響について学習する喫煙防止教室を実施していたが、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

また、世界禁煙デー（5月31日）及び禁煙週間（5月31日～6月6日）の趣旨に沿い、期間中に、保健センター・各保健出張所に禁煙情報コーナーを設置し、パネルやポスターの展示、パンフレットの配布等を行った。

### 《学校における喫煙防止教室》

(単位：回，人)

区分	合計		小学校		中学校	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
2年度	0	0	-	-	-	-
3年度	0	0	-	-	-	-
4年度	1	15	1	15	-	-

## ウ 地域に根ざす健康づくり事業

市民の健康づくりは、これまで市民一人ひとりが主体的に取り組むことを主眼に行ってきたが、生活習慣病の影響が大きいことを考えると、社会全体で取り組む必要がある。

このため、各自治会が行うウォーキング会、体力測定会や健診の受診勧奨等の健康づくり事業に市が交付金を交付することや側面支援することにより、地域の健康づくりを活性化させる事業を呉市自治会連合会及び呉市健康運動推進協議会との協働で実施した。

(単位：回，人)

内容	2年度	3年度	4年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定支援</li> <li>・健康診査の受診勧奨</li> <li>・ウォーキング大会等への参加促進</li> <li>・地域の健康づくり事業の開催 (地区ウォーキング会・体力測定など)</li> </ul>	実施回数 237	実施回数 288	実施回数 412
	参加者数 5,489	参加者数 7,964	参加者数 13,608

エ 健康教室（全体）

健康の保持増進と生活習慣病の予防のため、乳幼児から高齢者まで、身体状況に応じた健康づくりの一環とし健康教室を実施した。

（単位：回，人）

区分	合計		母子		成人		栄養・健康増進		歯科	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
2年度	344	8,929	32	381	44	1,003	21	374	8	80
3年度	324	6,963	53	492	24	457	10	175	20	226
4年度	438	10,580	69	657	56	1,085	16	257	23	239
			精神保健		結核		エイズ		難病	
			回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
			212	6,381	26	636	1	74	-	-
			206	5,283	10	257	1	73	-	-
			243	7,633	30	622	1	87	-	-

《地区組織との連携（再掲）》

（単位：回，人）

区分	合計		教室内容（参加人数）		
	回数	人数	運動	栄養	その他
2年度	75	1,610	1,129	269	212
3年度	95	2,049	1,654	328	67
4年度	194	4,739	3,438	969	332

※健康教室の実施に当たり、地区組織と連携して実施したもの（再掲）

※地区組織：自治会・民生委員児童委員協議会・女性会・老人クラブ・運動普及推進協議会  
食生活改善連絡協議会・ボランティアグループ等

③ 運動普及推進事業（呉市健康運動推進協議会連合会）

ア 運動普及推進員の養成

地域の人々に健康づくりのための運動を普及し運動の習慣を日常生活に定着させるため、運動普及推進員を養成した。

《運動普及推進員の養成》（単位：人）

区分	地区数	人数
2年度	10	17
3年度	7	12
4年度	12	18

《運動普及推進員数》（単位：人）

区分	地区数	人数
2年度	23	404
3年度	23	403
4年度	23	399

イ 運動普及推進員の活動

運動普及推進員の地区組織活動が、組織的・計画的・継続的に行われるよう支援した。

また、運動普及推進員の資質向上のための研修会を実施した。

（単位：回，人）

区分	合計		ウォーキング会		体力測定		講演会		健康教室等	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
2年度	53	2,028	24	929	0	0	1	61	28	1,038
3年度	90	2,906	56	1,911	2	113	4	147	28	735
4年度	87	3,452	58	2,188	7	472	8	379	14	413

④ 食生活改善推進事業（呉市食生活改善連絡協議会）

食生活改善推進員の地区組織活動が、組織的・計画的・継続的に行われるよう支援した。  
また、食生活改善推進員の資質向上のための研修会を実施した。

《食生活改善推進員の活動》

（単位：回，人）

区分		合計		子どもの健康・食生活		若者・働き世代の健康・食生活		高齢者の健康・食生活		その他	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
集会	2年度	79	933	1	2	0	0	33	161	45	770
	3年度	68	1,017	1	12	0	0	24	396	43	609
	4年度	42	696	7	71	0	0	35	625	0	0
対話訪問	2年度	643	886	72	193	0	0	550	672	21	21
	3年度	674	987	56	291	49	84	549	592	20	20
	4年度	600	1,373	33	339	30	99	425	639	112	296
合計	2年度	722	1,819	73	195	0	0	583	833	66	791
	3年度	742	2,004	57	303	49	84	573	988	63	629
	4年度	642	2,069	40	410	30	99	460	1,264	112	296

※30年度項目変更

《食生活改善推進員研修》

（単位：回，人）

区分	合計		中央講習会 (各地区研修会)		研修会 (総会，県など)		ブロック研修会 (2地区ごと)	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
2年度	16	235	9	99	5	88	2	48
3年度	18	288	11	136	5	105	2	47
4年度	25	323	18	200	5	65	2	58

《食生活改善推進員数》

（単位：地区，人）

区分	地区数	人数	地区内訳（人）
2年度	5	116	川尻(17)・音戸(43)・倉橋(17)・蒲刈(29)・安浦(10)
3年度	5	111	川尻(14)・音戸(41)・倉橋(17)・蒲刈(29)・安浦(10)
4年度	5	105	倉橋(16)・安浦(10)・音戸(37)・蒲刈(29)・川尻(13)

⑤ 適塩ぷらす野菜de食育推進事業

適塩，野菜プラス一皿を主体とし，健康的な食習慣や，生活習慣病の重症化を予防できる  
よう，幅広く食育活動を行い，健康寿命延伸を図る。

(単位：回，人)

区分	合計		集団教室		普及啓発	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
2年度	373	9,730	3	38	370	9,692
3年度	359	12,435	6	99	353	12,336
4年度	471	12,415	4	51	467	12,364

特定健康診査の尿検査に，推定食塩摂取量の検査項目を追加（集団健診の結果）

年度		受診者数	平均年齢	推定食塩量平均値	(単位：人，歳，g)
2年度	男性	1,618	70.7	9.3	
	女性	2,710	66.5	8.5	
	30代女性	173	35.7	8.0	
	合計	4,501			
3年度	男性	1,647	70.7	9.3	
	女性	3,020	65.4	8.4	
	30代女性	203	35.7	7.7	
	合計	4,870			
4年度	男性	1,921	70.7	9.3	
	女性	3,496	64.5	8.5	
	30代女性	231	35.6	7.8	
	合計	5,648			

※令和2年度より福祉保健課へ移管

(2) 運動環境整備

地域の身近な施設である「公園」等に健康遊具を設置することにより，地域の健康づくりの機運を高め，高齢者等の介護予防や健康の維持・増進を図るとともに，高齢者等が一步外へ出て，地域の交流を深めていけるまちづくりを目指す。

① 健康遊具の整備

ア 健康遊具設置公園数（年度別）

区分	公園数	遊具数
平成元年度設置公園	97公園	333基
令和2年度設置公園	97公園	336基
令和3年度設置公園	90公園	306基

※土木維持課より情報提供（R5.3.31現在）

### (3) 母子保健

妊娠届出時の母子健康手帳交付は直接面接で保健指導を行い、妊産婦・乳幼児の家庭訪問、乳幼児健康診査など、妊娠期から継続して健康の保持増進を図るとともに、母子の愛着形成を促すよう育児支援に努め、母と子の心の健康づくりに重点をおいた母子保健活動を行っている。

#### ① 母子健康手帳交付と妊婦健康診査

母子の健康管理を図るため、妊娠の届出により母子健康手帳を交付し、妊婦健康診査を実施した。

##### 《母子健康手帳交付》

(単位：件)

区分	合計	小計	妊娠届出によるもの					分娩後	双子	再交付	再掲外国語版
			満11週以内	満12週～19週	満20～27週	満28週以上					
2年度	1,182	1,161	1,122	30	7	1	1	7	14	27	
3年度	1,123	1,102	1,051	40	4	6	1	16	4	12	
4年度	966	953	918	29	3	3	0	7	6	19	

※令和3年度、1名三つ子

##### 《妊婦健康診査》

(単位：回，人)

区分	対象者数	受診者数					一般健康診査実施回数
		子宮頸がん検診	血液検査	クラミジア検査	歯科健診	一般健康診査	
2年度	1,161	1,132	1,133	1,098	497	14,342	14
3年度	1,102	1,085	1,102	1,022	453	13,030	14
4年度	946	929	946	969	466	12,452	14

※ 20年度から、県外の医療機関で健康診査を受ける妊婦のために助成事業を開始

## ② 乳幼児健康診査

子どもを健やかに育てることを目的に、1か月児・3か月児・乳児後期・1歳6か月児・3歳児を対象として健康診査を行い、併せて保健指導や育児不安等に関する相談を行った。

また、平成30年4月から生後28日未満の新生児を対象に、新生児聴覚検査を開始した。

### 《新生児聴覚検査》

(単位：人)

区分		対象者	受診者	検査結果			実施率
				パス	リファア(再検査)	その他	
2年度	初回検査	1,188	1,140	1,120	20	0	96.0%
	追加検査	20	20	14	6	0	100.0%
3年度	初回検査	1,009	994	966	28	0	98.5%
	追加検査	28	28	17	11	0	100.0%
4年度	初回検査	1,044	1,011	997	14	0	96.8%
	追加検査	14	14	9	5	0	100.0%

区分		対象者	受診者	一側性難聴	両側性難聴	正常	経過観察中
精密検査	2年度	6	6	1	0	1	4
	3年度	11	11	0	1	4	6
	4年度	5	5	1	1	0	3

### 《乳幼児健康診査》

(単位：回，人)

区分		実施回数	対象者	受診者	受診率	指導延人員	精密検査
1か月児	2年度	医療機関委託	1,188	1,138	95.8%	109	0
	3年度		1,033	1,013	98.1%	120	0
	4年度		1,026	988	96.3%	82	0
3か月児	2年度	個別健診(集団2回)	1,264	1,213	96.0%	266	13
	集団 西(1) 東(1)						
	3年度	個別健診	1,042	999	95.9%	195	12
乳児後期(9~10か月児)	2年度	医療機関委託	1,190	1,133	95.2%	145	4
	3年度		883	851	96.4%	143	5
	4年度		1,022	946	92.6%	79	5
1歳6か月児	2年度	62	1,146	1,126	98.3%	605	12
	3年度	56	1,094	1,040	95.1%	439	4
	4年度	62	1,222	1,178	96.4%	475	10
3歳児	2年度	67	1,260	1,245	98.8%	713	別途掲載
	3年度	63	1,253	1,233	98.4%	701	
	4年度	67	1,312	1,282	97.7%	766	

※ 平成16年度から、1か月児・6か月児は、医療機関に委託して健康診査を実施

※ 3か月児健診を令和2年5月より個別健診で実施(新型コロナウイルス感染症予防対策のため)

※ 令和3年度より、6か月児健診を乳児後期健診に変更

《精神発達精密健康診査（1歳6か月児・3歳児）》

（単位：回，人）

区分		実施回数	受診 実人員	受診 延人員	受診者の内訳（複数該当）		
					発達に 関する問 題	育児不安	その他
1歳6か月児	2年度	35	88	89	89	1	0
	3年度	35	73	75	74	0	3
	4年度	34	70	72	72	4	0
3歳児	2年度	35	74	76	72	2	3
	3年度	35	76	77	71	5	13
	4年度	34	97	98	92	5	7

《視力・聴力検査（3歳児）》

（単位：人）

区分	対象者	受診者	要精検者数		要精検率	
			視力	聴力	視力	聴力
2年度	1,260	1,245	51	13	4.1%	1.0%
3年度	1,253	1,233	89	14	7.2%	1.1%
4年度	1,222	1,178	115	10	9.8%	0.8%

《視力精密検査（3歳児）》

（単位：人）

区分	対象者	受診者	受診結果					経過 観察
			異常 なし	所見有り（延人数）				
				斜視	弱視	屈折異常	その他	
2年度	51	36	18	3	6	11	2	4
3年度	89	70	14	6	19	36	12	2
4年度	115	97	33	12	29	35	9	7

《聴力精密検査（3歳児）》

（単位：人）

区分	対象者	受診者	受診結果					経過 観察
			異常 なし	所見有り（延人数）				
				難聴	滲出性中耳炎	急性中耳炎	その他	
2年度	13	10	6	1	1	0	3	0
3年度	14	4	1	2	1	0	1	0
4年度	10	5	3	0	1	0	1	1

③ 保健指導・育児相談

ア 個別保健指導

母子健康手帳交付時や妊産婦・新生児等の家庭訪問時に保健指導を行い、妊娠・出産・育児を通じて母と子の健康保持増進を図るとともに、子育て支援を行った。

《妊娠の届出時の保健指導》 (単位：人)

区分	妊娠の届出	保健指導
2年度	1,161	1,155
3年度	1,102	1,088
4年度	953	953

《家庭訪問指導》 (単位：人)

区分	合計	妊産婦	新生児 乳児等	未熟児	幼児	心身障害	その他
2年度	5,074	1,415	1,848	184	1,008	42	577
3年度	3,582	1,087	1,310	126	667	22	370
4年度	3,448	1,141	1,298	107	574	24	304

イ 集団保健指導

妊娠中の生活・出産・子育てに関して、妊婦教室や育児教室を開催した。

また、幼児健診において、精神発達の経過観察となった子どもと保護者を対象としたちびっこ教室を開催、教育委員会と連携し、思春期保健活動を行った。

《妊婦教室》 (単位：回，人)

区分	妊婦教室（プレママスクール）		サンデーマタニティ教室	
	回数	延人数	回数	延人数
2年度	9	58	9	175
3年度	7	36	6	133
4年度	9	25	8	157

《育児教室》 (単位：回，人)

区分	合計		育児教室		家庭看護 事故予防教室	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
2年度	13	140	10	94	3	46
3年度	22	235	22	235	0	0
4年度	30	369	27	288	3	81

《育児支援強化事業（ちびっこ教室）》 (単位：回，人)

区分	回数	延人数
2年度	24	88
3年度	17	78
4年度	20	81

《思春期保健活動》 (単位：回，人)

区分	思春期ふれあい体験学習		喫煙防止教室	
	回数	延人数	回数	延人数
2年度	1	8	0	0
3年度	1	10	0	0
4年度	1	10	1	15

ウ 育児相談

各地域の協力を得て育児相談を行い、子育ての相談や母親同士の交流や仲間づくりを支援した。

《育児相談》

(単位：回，人)

区分	合計		中央		宮原		警固屋		天心	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
2年度	107	701	5	29	0	0	5	19	7	23
3年度	107	545	4	17	5	10	5	7	5	35
4年度	138	707	4	17	5	10	5	7	5	35
	昭和		吉浦		広		郷原		仁方	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
	4	25	4	20	4	98	4	11	4	19
	5	27	4	22	4	61	5	8	4	8
	11	62	10	48	5	73	5	11	5	14
	阿賀		下蒲刈		川尻		音戸		倉橋	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
	2	16	1	4	8	21	9	44	8	37
	3	13	-	-	7	23	8	24	7	12
	5	20	-	-	10	15	9	30	5	4
	蒲刈		安浦		豊浜		豊		その他	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
	9	39	7	97	-	-	3	5	23	194
	7	23	6	58	-	-	4	11	24	186
	8	34	9	46	-	-	5	9	32	272

※令和元年度より豊浜は豊に集約。令和3年度より下蒲刈は蒲刈に集約。

エ 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）

地域の中で乳児の健全な育児環境の確保を図ることを目的として、主任児童委員・民生委員児童委員と保健師が連携して生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行った。

(単位：人，件)

区分	出生数	訪問件数	実施率
2年度	1,188	1,173	98.7%
3年度	1,009	983	97.4%
4年度	1,044	1,034	99.0%

※20年9月から事業開始

出生数は、市民窓口課のデータで算出（R3年度から）

オ 子どもの心の健康づくり相談

親と子どもの心の問題について早期発見・早期対応を図るため、精神科医・心理療法士の専門家による相談を行った。

(単位：回，件)

区分		回数	延相談件数
2年度	児童精神科医	7	9
	心理療法士	16	23
	合計	23	32
3年度	児童精神科医	10	17
	心理療法士	12	19
	合計	22	36
4年度	児童精神科医	11	15
	心理療法士	17	25
	合計	28	40

カ 5歳児発達相談

集団生活の中で社会性や行動面での問題が表面化する5歳の時期に、心理の専門家による個別の発達相談を行い、保護者が発達特性の理解と適切な対応方法を学ぶことにより、子どもの健全な発達を促すとともに、不安なく就学をむかえるための支援を行う。

区分	アンケート			保健師相談数(発達相談依頼数)
	発送数	返信数	返信率	
4年度	1,369人	1,111人	81.2%	154人(内64人)

※保健師による電話相談後、必要な者は心理の専門家による発達相談を行う。

④ 医療給付

入院養育を必要とする未熟児に対し、医療の給付を行った。

《未熟児養育医療給付》

(単位：人)

区分	合計	体重別	
		2,000g以下	2,001g以上
2年度	52	24	28
3年度	34	20	14
4年度	54	34	20

⑤ 妊娠・出産包括支援事業

妊娠から出産・育児に関する悩みを気軽に相談できる呉市子育て世代包括支援センターえがおを設置し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行っている。平成30年10月から産婦健康診査を開始した。

《配置体制》

保健師1名 助産師1名 相談員1名 社会福祉士・精神保健福祉士1名 計4名

※令和4年 重層的支援体制整備事業（アウトリーチ事業）開始により、重層的支援推進室の社会福祉士・精神保健福祉士1名が配置

《利用実績》

ア 母子保健相談支援事業

(単位：回，人，件)

区分	子育て マイプラ ン	関係機関との ネットワークづくり		子育て 応援ナビ (相談)	妊娠 ほっとライン (電話相談)	サポート電話 (妊娠後期)
		回数	人数			
2年度	1,161	3	55	100	1	989
3年度	1,102	2	48	124	4	814
4年度	953	3	71	119	1	780

イ 産前・産後サポート事業

(単位：回，人)

区分	交流会		定期授乳相談		母子保健コーディネーター訪問人数			母乳育児 支援補助 券利用数
	回数	延人数	回数	延人数	妊婦	産婦	新生児	
2年度	20	115	44	209	2	87	86	221
3年度	26	147	40	119	2	94	96	133
4年度	33	238	96	143	2	117	117	112

ウ 産後ケア事業

(単位：人，日)

区分	全体の 実人数	宿泊型		日帰り型（1日）		日帰り型（半日）		訪問型	
		人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数
2年度	12	7	33	6	31	/	/	/	/
3年度	118	20	72	27	54	54	101	40	115
4年度	159	16	49	45	104	72	162	57	159

エ 産婦健康診査

(単位：人，件)

区分	受診者数			フォロー 件数
	合計	産後2週間	産後1か月	
2年度	1,835	701	1,134	90
3年度	1,757	737	1,020	119
4年度	1,764	774	990	126

※30年度10月から実施

⑥ 不妊治療医療費の助成

不妊に悩む夫婦に対して、医療保険が適用されない治療費の一部を助成することで経済的負担の軽減を図り、不妊に関する支援を行った。

《助成状況》

(単位：人)

区分	申請人数	承認人数	一般不妊治療 (人工授精)	特定不妊治療 (体外受精, 顕微授精等)	特定不妊治療 (再掲)	
					初回	男性
2年度	305	305	81	224	56	3
3年度	400	399	76	323	75	5
4年度	101	101	34	67	12	0

※令和4年4月から保険適用となり、特定不妊治療助成は呉市は終了。  
(令和4年度は、年度をまたぐ1回の治療について経過措置として助成)

⑦ 不育症の助成

不育症の検査・治療に助成を行い、不育症で悩んでいる方が医療にかかりやすくすることで、流産を繰り返す方への精神的負担や経済的負担を軽減する。

《助成状況》 (単位：件)

	3年度	4年度
件数	8	8

(4) 成人保健

健康増進法に基づき健康増進事業（①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④訪問指導 ⑤肝炎ウイルス検診 ⑥健康診査 ⑦がん検診 ⑧歯周疾患検診（歯科保健で掲載））を実施。平成30年度から⑧骨粗しょう症検診を開始した。（⑤～⑧：令和2年度より福祉保健課へ移管）

① 健康手帳の交付

特定健診・保健指導等の記録，その他健康の保持のため必要な事項を記載し，自らの健康管理と適切な医療に資することを目的に交付した。

（単位：冊）

区分	合計
2年度	3,400
3年度	3,400
4年度	3,400

② 健康教育

生活習慣病の予防その他健康に関する事項について，正しい知識の普及を図ることにより，「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め，健康の保持増進に資することを目的に健康教室や講演会などを実施した。

（単位：回，人）

区分	合計		一般		ロコモティブシンドローム		病態別		慢性閉塞性肺疾患		歯周疾患	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
2年度	51	1,098	29	722	14	287	6	74	0	0	2	15
3年度	31	517	18	350	2	34	10	110	0	0	1	23
4年度	65	1,200	30	530	15	264	18	375	0	0	2	31

※ロコモティブシンドローム：運動器症候群

③ 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的に実施した。

(単位：回，人)

区分	合計		総合健康相談		重点健康相談 計		重点健康相談			
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	高血圧		脂質異常症	
							回数	延人数	回数	延人数
2年度	206	720	33	90	173	630	72	251	35	92
3年度	183	696	37	77	146	619	54	184	29	74
4年度	272	1,265	45	121	227	1,144	81	261	39	90

重点健康相談									
糖尿病		歯周疾患		骨粗しょう症		女性の健康		病態別	
回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
25	44	0	0	10	91	7	64	24	88
25	45	0	0	15	233	6	55	17	28
37	77	0	0	33	583	10	82	27	51

④ 訪問指導

療養上の保健指導が必要であると認められる者及びその家族等に対して保健師等が訪問し、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ることを目的として実施した。

(単位：人)

区分		訪問指導者数	
		実人数	延人数
2年度		650	1,222
3年度		611	657
4年度		646	686
内訳	要指導者	99	112
	閉じこもり予防	11	19
	家庭介護者	5	6
	寝たきり	3	3
	認知症	0	0
	被災者	528	546
	その他	0	0

⑤ 肝炎ウイルス検診

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、住民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導を受け、医療機関等で受診することにより、肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し、進行を遅延させることを目的として実施した。

(単位：人)

区分	B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診		
	人数	うち陽性者数	人数	うち陽性者数	
2年度	1,123	10	1,126	6	
3年度	1,186	11	1,185	4	
4年度	1,323	12	1,332	2	
内訳	健康増進事業	693	7	697	0
	特定感染症事業	630	5	635	2

※協会けんぽコラボ分を含む。

⑥ 健康診査

高齢者の医療の確保に関する法律及び健康増進法に規定する者（75歳以上の者、生活保護受給者等）及び30歳代の女性に対し、生活習慣病に着目した健康診査を実施した。

(単位：人)

区分	生活保護受給者 (40歳以上)	後期高齢者医療 被保険者 (75歳以上)	30歳代女性健診 (30～39歳)
2年度	35	2,088	173
3年度	33	2,024	203
4年度	43	2,478	232

※ 重複受診者を除く。

⑦ がん検診

がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題になっている現状に鑑み、がんの予防及び早期発見の推進を図ることによりがんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

ア 胃がん検診

対象者	40歳以上（胃部エックス線検査），50歳以上（胃部内視鏡検査）
実施方法	集団検診：保健センター・各地区
	個別検診：委託医療機関（令和元年10月から）

（単位：人，％）

区分	受診者	受診率	要精密検査	要精密検査内訳				
				異常認めず	がん	がんの疑い未確定	がん以外の疾患	未受診未把握
2年度	2,209	3.2	112	16	0	4	78	14
3年度	2,218	2.9	161	35	1	4	108	13
4年度	2,252 (367)	3.0 (-)	138 (40)	国への事業報告に合わせて次年度に集計				

※下段（ ）書きは、胃部内視鏡検査（再掲）

※受診率算定対象者の年齢は50～69歳（地域保健・健康増進事業報告）

イ 肺がん検診（胸部エックス線検査）

対象者	40歳以上
	30歳代の女性（30歳代女性健診）
実施方法	集団検診：保健センター・各地区
	個別検診：委託医療機関（平成30年度から）

（単位：人，％）

区分	受診者	受診率	要精密検査	要精密検査内訳				
				異常認めず	がん	がんの疑い未確定	がん以外の疾患	未受診未把握
2年度	4,737 (138)	2.8	190 (0)	66	0	7	92	25
3年度	5,076 (157)	3.0	134 (0)	36	0	5	69	24
4年度	5,274 165	3.0	131 (0)	国への事業報告に合わせて次年度に集計				

※下段（ ）書きは、30歳代の女性（再掲）

※受診率算定対象者の年齢は40～69歳（地域保健・健康増進事業報告）

ウ 大腸がん検診（便潜血検査）

対象者	40歳以上
実施方法	集団検診 : 保健センター・各地区
	個別検診 : 委託医療機関（平成26年度から）

（単位：人，％）

区分	受診者	受診率	要精密検査	要精密検査内訳				
				異常認めず	がん	がんの疑い未確定	がん以外の疾患	未受診未把握
2年度	5,775	3.3	442	100	8	6	184	144
3年度	6,105	3.5	413	70	6	4	174	159
4年度	6,577	3.6	432	国への事業報告に合わせて次年度に集計				

※受診率算定対象者の年齢は40～69歳（地域保健・健康増進事業報告）

エ 前立腺がん検診（血液検査：P S A値（前立腺特異抗原）測定）

対象者	40歳以上の男性
実施方法	集団検診 : 保健センター・各地区

（単位：人，％）

区分	受診者	受診率	要精密検査	要精密検査内訳				
				異常認めず	がん	がんの疑い未確定	がん以外の疾患	未受診未把握
2年度	1,537	2.2	66	7	5	11	13	20
3年度	1,634	2.4	80	13	7	6	31	23
4年度	1,823	2.8	132	国への事業報告に合わせて次年度に集計				

オ 子宮頸がん検診（細胞診）

対象者	20歳以上の女性
実施方法	集団検診 : 呉市医師会病院・保健センター・各地区
	個別検診 : 委託医療機関（昭和57年度から）

（単位：人，％）

区分	受診者	受診率	要精密検査	要精密検査内訳					
				異常認めず	がん	異形成	がんの疑い未確定	がん以外の疾患	未受診未把握
2年度	9,570	22.2	395	77	2	64	3	4	245
3年度	9,419	22.6	349	74	0	66	10	6	193
4年度	10,036	22.5	396	国への事業報告に合わせて次年度に集計					

※受診率算定対象者の年齢は20～69歳（地域保健・健康増進事業報告）

カ 乳がん検診

対象者	30歳代の女性 (超音波検査)
	40歳以上の女性 (マンモグラフィー)
実施方法	集団検診 : 呉市医師会病院・保健センター・各地区
	個別検診 : 委託医療機関 (平成21年度から)

(単位：人，%)

区分	受診者	受診率	要精密検査	要精密検査内訳				
				異常認めず	がん	がんの疑い未確定	がん以外の疾患	未受診未把握
2年度	4,107 (205)	12.1 (-)	296 (2)	109	4	5	96	82
3年度	4,247 (255)	11.3 (-)	294 (4)	152	5	7	78	52
4年度	4,614 (289)	11.9	391 (8)	国への事業報告に合わせて次年度に集計				

※下段 ( ) 書きは、超音波検査を受診した人

※受診率算定対象者の年齢は40～69歳 (地域保健・健康増進事業報告)

⑧ 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症検診を実施することにより、健康に関する意識の高揚を図るとともに、早期に骨量減少者を発見し、骨粗しょう症を予防することを目的に、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の節目年齢検診を実施した。

(単位：人，%)

区分	受診者	受診率	要精密検査	要精密検査内訳				
				異常認めず	骨粗しょう症	骨粗しょう症以外の疾患	未受診未把握	
2年度	247	2.5	73	2	8	1	29	
3年度	222	2.4	65	1	4	1	59	
4年度	330	3.6	82	国への事業報告に合わせて次年度に集計				
内訳	40歳	10	1.0					0
	45歳	19	1.6					0
	50歳	43	2.6					6
	55歳	35	2.6					6
	60歳	44	3.4					11
	65歳	70	5.5					25
	70歳	109	7.5	35				

※ 平成30年度から実施

(5) 栄養改善

健康の保持増進と生活習慣病予防のため、乳幼児から高齢者まで、それぞれに適応した栄養・食生活指導を行い、理解を深め実践に結びつけるよう努めている。

① 栄養相談・指導

ア 母子栄養指導

妊産婦及び乳幼児の親を対象に、栄養指導を行った。

《個別栄養指導》

(単位：人)

区分	合計		妊産婦		乳幼児		20歳未満 (乳幼児を除く)		20歳以上 (妊産婦を除く)	
	栄養 指導数	(再掲) 病態別	栄養 指導数	(再掲) 病態別	栄養 指導数	(再掲) 病態別	栄養 指導数	(再掲) 病態別	栄養 指導数	(再掲) 病態別
2年度	717	8	7	0	685	0	2	1	23	7
3年度	645	76	6	5	542	0	54	54	43	17
4年度	630	54	1	0	555	0	42	40	32	14

《集団栄養指導》

(単位：人)

区分	合計		妊産婦		乳幼児		20歳未満 (乳幼児を除く)		20歳以上 (妊産婦を除く)	
	栄養 指導数	(再掲) 病態別	栄養 指導数	(再掲) 病態別	栄養 指導数	(再掲) 病態別	栄養 指導数	(再掲) 病態別	栄養 指導数	(再掲) 病態別
2年度	614	13	11	0	159	11	0	0	444	2
3年度	409	57	20	0	182	0	57	57	150	0
4年度	772	243	10	0	158	0	40	40	564	203

イ 成人栄養指導

成人を対象に、栄養指導を行った。

《健康教育》

(単位：回，人)

区分	合計		一般		ロコモティブシンドローム		病態別	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
2年度	7	95	3	43	0	0	4	52
3年度	7	60	0	0	0	0	7	60
4年度	9	115	0	0	0	0	9	115

《健康相談》

(単位：回，人)

区分	合計		重点健康相談										総合健康相談	
			高血圧		脂質異常症		糖尿病		骨粗しょう症		病態別			
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
2年度	56	172	15	51	14	32	10	15	6	35	10	38	1	1
3年度	67	286	21	85	13	30	10	17	10	139	6	6	7	9
4年度	89	461	28	99	17	39	14	32	19	269	9	17	2	5

② 給食施設指導

病院・事業所等の特定多数に継続的に食事を供給する給食施設に対して、栄養管理を中心に指導した。

《栄養管理指導施設数》

(単位：施設)

区分	合計	特定給食施設		その他の給食施設
		1回100食以上又は1日250食以上	1回300食以上又は1日750食以上	
2年度	実施指導中止			
3年度	実施指導中止			
4年度	24施設	8	4	12

③ 食品表示指導

加工食品等の栄養成分については、市民が正しく選択する栄養情報の一つとして、また誇大表示など健康に関する誤認を防ぐために、適切な表示が必要となる。

このため、食品製造及び販売業者等の相談を受けるとともに適切な表示が行われるよう指導した。

《食品表示相談・指導》

(単位：件)

区分	相談・指導件数
2年度	33
3年度	24
4年度	29

(6) 歯科保健

市民が生涯を通じて自分の歯でおいしく食べることができるよう、口腔衛生の知識の向上とその習慣化を図るとともに、歯科疾患の早期発見と予防のため、歯科健診や健康教育・健康相談を行っている。

また、各ライフステージに応じて、歯科保健に関する情報提供などの啓発を行い、「8020(はちまるにいまる)運動」のより一層の推進を図っている。

① 歯科健康診査

ア 幼児歯科健康診査

1歳6か月児及び3歳児の歯科健康診査を実施し、個別に口腔清掃や食生活を中心とした日常生活習慣の指導を行った。また、1歳6か月児健康診査においては、希望者に対し予防処置(フッ化物塗布)を行った。

《1歳6か月児歯科健康診査》

(単位：人、本)

区分	対象者数	受診者数	むし歯のない者	むし歯罹患型				むし歯罹患率	むし歯総数	1人平均むし歯数	不正咬合	フッ化物塗布
				A型	B型	C型	計					
2年度	1,146	1,117	1,110	7	0	0	7	0.6%	19	0.02	87	108
3年度	1,094	1,031	1,019	11	1	0	12	1.2%	24	0.02	101	0
4年度	1,222	1,176	1,169	7	0	0	7	0.6%	10	0.01	129	939

《3歳児歯科健康診査》

(単位：人、本)

区分	対象者数	受診者数	むし歯のない者	むし歯罹患型					むし歯罹患率	むし歯総数	1人平均むし歯数	不正咬合
				A型	B型	C1型	C2型	計				
2年度	1,260	1,242	1,110	97	28	2	5	132	10.6%	395	0.32	206
3年度	1,253	1,230	1,078	109	36	2	5	152	12.4%	491	0.40	232
4年度	1,312	1,279	1,163	83	25	1	7	116	9.1%	367	0.29	264

- (むし歯罹患型分類) A型 … 上の前歯のみ、又は奥歯にのみむし歯のあるもの  
 B型 … 奥歯及び上の前歯にむし歯のあるもの  
 C型 ┌ C1型 … 下の前歯のみにむし歯のあるもの  
      └ C2型 … 下の前歯及び他のむし歯のあるもの

イ 歯周疾患検診

歯を失う原因となる歯周疾患は、40歳代を境に急増している。

高齢期において健康を維持し食べる楽しみを享受できるように、歯の喪失を予防することを目的に、40歳・50歳・60歳・70歳の節目年齢検診を実施した。

(単位：人)

区分	受診者数	検診結果			
		異常なし	要指導	要精検者	
2年度	72	12	25	35	
3年度	86	9	25	52	
4年度	87	21	37	29	
内訳	40歳	17	7	8	2
	50歳	25	5	11	9
	60歳	21	5	9	7
	70歳	24	4	9	11

## ② 歯科健康教育・歯科相談

妊婦教室・育児教室・保育所・幼稚園等において、歯みがき指導や噛む習慣づくり教室、食生活指導を行い、口腔を衛生的に保つことの習慣化や歯と口の健康への関心を高めることに努めた。

また、成人の健康教室においては、歯周疾患の予防、口腔と全身の健康との関係、高齢期の口腔機能向上等についての講話や相談等を行った。

## 《歯科健康教育》

(単位：回，人)

区分	合計		妊婦教室		育児教室		保育所・幼稚園		小・中学生		成人健康教室	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
2年度	12	100	4	20	3	31	1	15	2	19	2	15
3年度	24	240	4	14	14	118	3	66	2	19	1	23
4年度	27	246	4	7	16	134	3	59	2	15	2	31

## 《歯科相談》

区分	個別歯科相談
2年度	40人
3年度	21人
4年度	43人

## ③ 歯科保健普及啓発活動

歯の寿命を延ばし、もって健康の保持増進に寄与するため、歯の衛生や歯科疾患の予防に関する正しい知識を普及啓発した。

(単位：人)

区分	内容	参加者数		
		2年度	3年度	4年度
歯の衛生週間行事 (6/4~6/11)	歯科検診，歯科相談，歯磨き指導 フッ化物塗布，フッ化物洗口等 いきいき健康歯科講座	中止	中止	中止
「8020」いい歯の表彰	8020達成者の表彰	149	250	233
巡回歯科疾患予防啓発	パネル展示，歯科相談等 地域を巡回して実施	実施回数		
		18回	8回	12回

(7) 感染症

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）の趣旨を踏まえ、感染症の発生予防及び患者の人権に配慮した感染拡大防止対策に努めている。また、感染症の発生拡大を未然に防止するために、感染症発生動向調査事業により得られた感染症情報を定期的に関係機関等へ提供している。

① 全数把握疾患報告数（感染症法により届出を要するもの）

《一類，二類，三類感染症報告数》

(単位：件)

区分	総数	一類感染症	二類感染症		三類感染症	
			結核	腸管出血性大腸菌感染症	パラチフス	
2年	45	0	40	5	0	
3年	35	0	32	3	0	
4年	28	0	23	5	0	

《四類感染症報告数》

(単位：件)

区分	総数	四類感染症						
		A型肝炎	E型肝炎	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	レジオネラ症
2年	21	0	0	4	1	0	14	2
3年	26	0	0	4	0	0	20	2
4年	26	0	0	5	0	0	18	3

《五類感染症報告数》

(単位：件)

区分	総数	五類感染症																			
		アメーバ赤痢	耐性腸内細菌	カルバペネム	急性脳炎	ヤコブ病	フクロブドウ球菌感染症	劇性溶血性球菌感染症	後天性免疫不全症候群	球菌感染症	侵入性肺炎	梅毒	百日咳	風しん	タリクア	薬剤耐性肺炎	肝炎ウイルス性	破傷風	麻しん	水を要する(入院も限る)	水痘
2年	34	2	9	2	0	4	0	0	10	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
3年	27	0	10	0	1	0	1	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
4年	49	2	12	0	2	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

※百日咳は、平成30年1月1日より、定点把握疾患から全数把握疾患に変更

《新型コロナウイルス感染症》

(単位：件)

区分	総数	クラスター	保健所による検査
2年度	328	6	7,255
3年度	6,383	66	16,528
4年度	48,993	268	15,225

※令和3年2月12日まで「指定感染症」, 令和3年2月13日から「新型インフルエンザ等感染症」, 令和5年5月8日から「5類感染症」へ移行

※市民からの受診相談をはじめ, 感染者への積極的疫学調査, 濃厚施職者へのPCR検査, 療養先の調整や搬送, 療養期間中の健康観察を実施した。学校・病院・施設など集団クラスターへの対応も実施した。

② 定点把握疾患報告数 (感染症発生動向調査定点医療機関から報告のあったもの)

《五類感染症発生状況 (定点医療機関からの報告)》

(単位：件)

疾病名	2年	3年	4年	疾病名	2年	3年	4年
(週報)				(月報)			
インフルエンザ <small>鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く</small>	808	2	6	性器クラミジア感染症	72	75	84
RSウイルス感染症	28	401	199	性器ヘルペスウイルス感染症	7	3	1
咽頭結膜熱	9	11	6	尖圭コンジローマ	3	2	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	84	51	24	淋菌感染症	23	25	24
感染性胃腸炎	900	881	795	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	41	26	36
水痘	24	13	8	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0
手足口病	6	80	92	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0
伝染性紅斑	9	0	1				
突発性発しん	66	46	36				
ヘルパンギーナ	7	7	17				
流行性耳下腺炎	27	17	6				
急性出血性結膜炎	0	1	0				
流行性角結膜炎	20	24	42				
感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	0	2	0				
細菌性髄膜炎 (真菌性を含む)	2	4	0				
マイコプラズマ肺炎	9	1	0				
無菌性髄膜炎	2	1	1				

《感染症発生動向調査事業の定点医療機関数》

(単位：機関)

区 分	2年	3年	4年	区 分	2年	3年	4年
小児科定点	8	8	8	性感染症定点	2	2	2
内科定点	5	5	5	基幹定点	2	2	2
(インフルエンザ定点)	(13)	(13)	(13)	病原体定点	3	3	3
眼科定点	2	2	2	疑似症定点	2	2	2

※インフルエンザ及び疑似症定点は、小児科定点及び内科定点に含まれる。

③ 予防接種

ア 乳幼児・児童・生徒

感染予防、発病防止と症状の軽減、病気のまん延防止を目的として、定期の予防接種の助成事業を行った。

《予防接種実施状況》

(単位：人)

実施機関	区 分		実 施 数			
			2年度	3年度	4年度	
医療機関	四種混合 (ジフテリア, 百日せき, 破傷風, 不活化ポリオ)	1 期初回	1 回目	1,212	1,024	1,034
			2 回目	1,228	1,022	1,021
			3 回目	1,236	1,063	1,010
		1 期 追 加		1,330	1,120	971
	三種混合 (ジフテリア, 百日せき, 破傷風)	1 期初回	1 回目	0	0	0
			2 回目	0	0	0
		1 期 追 加		0	0	0
	二種混合 (ジフテリア, 破傷風)	1 期初回	1 回目	0	0	0
			2 回目	0	0	0
		1 期 追 加		0	0	0
		2 期		1,557	1,355	1,263
	不 活 化 ポ リ オ	初 回	1 回目	0	0	0
			2 回目	0	0	0
			3 回目	0	0	0
		追 加		0	0	0
	水 痘	1 回 目		1,269	1,127	937
		2 回 目		1,284	1,073	921
	麻 し ん	1 期		0	0	0
		2 期		0	0	0
	風 し ん	1 期		0	0	0
		2 期		0	0	0
	麻しん・風しん混合	1 期		1,240	1,123	933
		2 期		1,433	1,375	1,207
日 本 脳 炎	1 期初回	1 回目	1,667	1,100	1,075	
		2 回目	1,639	1,128	1,033	
	1 期 追 加		1,562	635	1,548	
	2 期		1,743	731	1,973	
B 型 肝 炎	1 回 目		1,173	1,016	1,010	
	2 回 目		1,201	1,015	1,030	
	3 回 目		1,152	950	954	

	B	C	G		1,202	1,052	989
	子宮頸がん予防				339	658	2,535
	ヒブ				5,020	4,162	3,989
	小児用肺炎球菌				4,917	4,143	3,976
	ロタウイルス（1価）			1回目	281	501	426
				2回目	225	504	449
	ロタウイルス（5価）			1回目	260	493	564
				2回目	220	498	559
				3回目	177	494	544

※子宮頸がん予防、ヒブ及び小児用肺炎球菌の各ワクチンが、平成25年4月1日から定期の予防接種に追加された。

※子宮頸がん予防ワクチンについて、ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛を訴える副反応が報告されたため、同副反応の発生頻度等を調査するため、平成25年6月14日以降、積極的な勧奨を差し控えることになった。

令和2年度から、広島県からの通知により、高校1年生相当の対象者の保護者に積極的な勧奨ではなく、情報提供を実施した。

※水痘のワクチンが平成26年10月1日から定期予防接種に追加された。平成26年度のみ、3歳・4歳の者が経過措置として、定期予防接種の対象者となった。

※B型肝炎ワクチンが平成28年10月1日から定期予防接種に追加された。

※ロタウイルスワクチンが令和2年10月1日から定期予防接種に追加された。

#### イ 高齢者

平成13年の予防接種法の改正に伴い、定期の予防接種として、高齢者（65歳以上及び60歳以上65歳未満で一定の心臓、じん臓若しくは、呼吸器の機能障害等があるもの）を対象にインフルエンザ予防接種を行っている。

また、平成26年10月1日から高齢者肺炎球菌予防接種が定期の予防接種になり、予防接種の特例として、高齢者（65歳以上の5歳刻みの各年齢になる人及び60歳以上65歳未満で一定の心臓、じん臓若しくは、呼吸器の機能障害等があるもの）を対象に、平成30年度までの間に1人1回予防接種を行うようになった。

それともない、平成17年度から本市独自に高齢者（75歳以上）を対象に行っていた肺炎球菌予防接種助成制度は終了した。さらに、平成30年度まで行っていた特例期間が令和5年度まで延長された。（但し、接種済みの方は除く）

（単位：人）

実施機関	区 分	実 施 数		
		2年度	3年度	4年度
医療機関	インフルエンザ	51,865	45,953	45,701
〃	肺炎球菌（定期接種）	2,391	1,889	1,754

(8) エイズ・梅毒・結核

① エイズ予防

H I V感染を予防し患者や感染者に対する誤解や偏見をなくすため、エイズ予防健康教育や普及啓発事業等を行った。

ア エイズ予防健康教育・相談及び検査

(単位：回，人)

区分	健康教育		相談及び検査	
	回数	延人数	相談	血液検査
2年度	1	74	0	25
3年度	1	73	2	25
4年度	1	87	2	35

イ 世界エイズデー（12/1），H I V検査普及週間（6/1～6/7）関連行事

項目	日時	場所	内容	対象者
世界エイズデー 街頭キャンペーン	令和4年12月1日 (7:30～9:00)	呉・広・新広・安芸阿賀駅 駅前広場	ポケットティッシュ・小冊子等の配付 新広駅で広島国際大学学生と、安芸阿賀駅で広島文化学園大学学生と共に実施	2,200人
エイズパネル展	令和4年11月25日 ～12月2日	呉市役所 1階多目的室	PRパネル・啓発ポスターの掲示、小冊子・レッドリボンの配布	-
	令和4年11月24日 ～12月2日	広市民センター		
	令和4年11月24日 ～12月16日	すこやかセンター		
夜間検査・相談	令和4年6月3日	すこやかセンター	検査・相談（17:00～19:00）	6人
	令和4年12月2日			
健康教育	令和4年11月21日	和庄中学校	保健師による講演会	87人
	令和4年8月1日	仁風園	保健師による健康教室	21人
入学式での啓発	大学新生へのチラシ配布（広島国際大学・広島文化学園大学）			550人
成人式での啓発	成人式でのパンフレット配布（各民協区）			2,030人
行事に関する広報	毎月の市政だよりに掲載			-

② 梅毒検査

性感染症予防対策として、梅毒の早期発見のため梅毒検査を行った。

(単位：人)

	2年度	3年度	4年度
検査数	25	25	35

※エイズ検査と同時実施

③ 結核予防

結核予防のためのBCG接種，結核の早期発見のための定期健康診断を行った。

また，発生届に基づき結核患者を登録し，患者支援や接触者健康診断，医療費の公費負担を行った。

《登録患者数（活動性分類，年齢階級別）》

（単位：人）

区分	総数	活動性結核									不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲）	
		小計	活動性肺結核						活動性肺外結核	治療			観察中	
			小計	登録時喀痰塗末陽性			登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他						
				小計	初回治療	再治療								
2年	60	18	11	7	7	-	3	1	7	37	5	7	9	
3年	56	12	8	4	4	-	2	2	4	33	11	9	5	
4年	34	8	7	5	5	-	2	-	1	25	1	3	2	
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
20～29歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
30～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40～49歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
50～59歳	6	1	1	1	1	-	-	-	-	5	-	-	1	
60～69歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
70～79歳	11	3	3	2	2	-	1	-	-	7	1	-	1	
80歳以上	14	4	3	2	2	-	1	-	1	10	-	1	-	

《新登録患者数（活動性分類，年齢階級別）》

（単位：人）

区分	活動性結核								潜在性結核感染症（別掲）
	総計	活動性肺結核						活動性肺外結核	
		活動性肺結核計	登録時喀痰塗末陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他		
			小計	初回治療	再治療				治療中
2年	27	16	9	9	-	5	2	11	12
3年	21	12	6	6	-	4	2	9	10
<b>4年</b>	<b>17</b>	<b>12</b>	<b>7</b>	<b>7</b>	-	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>6</b>
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	1
20～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40～49歳	1	-	-	-	-	-	-	1	1
50～59歳	3	3	1	1	-	1	1	-	-
60～69歳	-	-	-	-	-	-	-	-	1
70～79歳	4	4	3	3	-	1	-	-	1
80歳以上	9	5	3	3	-	2	-	4	2

ア 結核医療費公費負担

結核医療費公費負担申請に基づき，感染症診査協議会（結核部会）においてその適否を審議した。

（単位：件）

区分	感染症法第37条（入院勧告）		感染症法第37条の2（一般医療）	
	申請	承認	申請	承認
2年度	28	28	64	59
3年度	21	21	41	37
<b>4年度</b>	<b>21</b>	<b>21</b>	<b>43</b>	<b>43</b>

イ 結核接触者健康診断

感染性のある患者の接触者に対し健診を行った。

(単位：人)

区分	ツベルクリン反応検査					X線検査		I G R A 検査	喀 痰 検 査
	被 注 射	被 判 定	陰 性	陽 性	強 陽 性 (再 掲)	間 接	直 接		
2年度	-	-	-	-	-	-	5	50	-
3年度	-	-	-	-	-	-	-	24	-
4年度	-	-	-	-	-	-	-	23	-

※ツベルクリン反応検査， X線検査は延人数

※I G R A検査：結核菌感染の有無を調べる血液検査

ウ 結核患者健康診断

結核登録患者で治療を終了した結核回復者に対し，必要な検査を行い再発防止に努めた。

(単位：人)

区分	受診者	検診結果	
		異常なし	要医療
2年度	70	70	0
3年度	49	49	0
4年度	30	30	0

エ 訪問指導・面接相談・電話相談

結核登録患者及びその家族に対し，疾病の早期発見，家族内感染の防止を図るため，保健師が家庭訪問・所内面接・電話相談を行い，療養支援，服薬（DOTS），生活指導を行った。

(単位：件)

区分	訪問指導		面接指導	電話相談
	訪問指導	(再掲DOTS)		
2年度	70	66	15	294
3年度	36	36	4	229
4年度	14	14	0	214

※DOTS：直接服薬確認療法(directly observed treatment short-course)  
患者が適切な容量の薬を服用するところを医療従事者が確認し，治癒するまでの経過を観察する治療法

オ DOTSカンファレンス

治療開始から終了に至るまでの患者に対する服薬支援を図るため、保健所等の関係機関や医療機関が協議した。

(単位：回，機関)

区分	実施回数	参加機関
2年度	0	7
3年度	0	0
4年度	0	0

※4年度内訳 (単位：回，機関)

実施場所	実施回数	参加機関
呉共済病院	0	0
東広島医療センター	0	0

カ 実施主体別定期健康診断

事業者等から、患者接触者以外で結核罹患率の高い人（ハイリスク者）及び発症すると周囲に感染を及ぼす恐れのある従事者関係者の報告を受けた。

(単位：人)

区分	事業者			学校長		
	間接撮影	直接撮影	喀痰検査	間接撮影	直接撮影	喀痰検査
2年度	1,415	10,242	65	142	2,150	0
3年度	2,068	8,393	28	78	1,934	0
4年度	2,073	7,189	21	0	1,661	0
	施設長			市町村長		
	間接撮影	直接撮影	喀痰検査	間接撮影	直接撮影	喀痰検査
	82	1,059	51	0	3,358	0
	216	899	52	0	3,560	0
	179	518	52	0	3,806	0

事業者：学校、病院、診療所、助産所、介護老人保健施設及び社会福祉施設の従事者

学校長：大学、高等学校、高等専門学校、専修学校又は各種学校の学生・生徒

施設長：矯正施設（20歳以上）、社会福祉施設（65歳以上）

市町村長：高齢者（65歳以上）、結核発症率の高い住民

キ 結核予防の普及啓発

結核予防週間（9/24～9/30）にあわせ、健康教室等で結核の正しい知識の啓発を行った。

(単位：回，人)

区分	実施回数	参加者
2年度	26	636
3年度	10	257
4年度	30	622

(9) 精神保健

精神保健に関する普及啓発を行い、地域での精神障害者への理解を深め、こころの健康づくりや自殺対策を推進している。

また、相談・指導を通して、専門的な治療の必要な人やその家族、地域の関係者や関係機関に様々な情報提供や交流会を実施し支援を行っている。

① 精神保健福祉相談（心の健康相談）

精神保健に関する不安や心の悩み等の相談及び家族の理解を深めるため、精神科医師・精神保健福祉相談員及び保健師による相談（面接・電話・メールなど）を行った。

(単位：人)

区分	合計		相談内容								(別掲) 電話 相談等
	実人数	延人数	老人 精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の 健康づくり	その他	
2年度	156	321	4	6	7	7	3	5	86	203	1,272
3年度	149	294	4	1	8	8	2	6	83	182	1,074
4年度	156	296	7	3	2	5	2	4	79	194	1,071

② 訪問指導

精神保健福祉相談員等が精神障害者や認知症の家庭を訪問し、本人や家族に対して療養や生活指導を行った。

(単位：件)

区分	訪問指導数
2年度	561
3年度	373
4年度	394

③ 広報普及活動

地域住民に対する講演会等の開催や精神障害者及び家族に対する教室を開催し、精神保健福祉に対する正しい知識の普及を図った。

〈広報普及活動状況〉

(単位：回，人)

区分	心の健康づくり教室		精神障害者（家族）に対する教室	
	回数	延人数	回数	延人数
2年度	192	5,957	4	9
3年度	189	4,873	3	8
4年度	234	7,401	2	4

#### ④ 自殺対策

##### 《支援体制》

令和元年12月に、自殺対策計画（みんなでのち支える呉プラン）を策定。

計画に基づき実施・評価していくとともに、医療，警察，労組，就労，法律関係等，幅広い分野の関係者が参画する「呉市自殺対策推進協議会」において、情報共有，連携を図ることにより，自殺対策を統合的に推進を行った。

呉市自殺対策推進協議会の開催（年1回）

##### 《人材の育成》

自殺予防として、人材養成事業（ゲートキーパーの養成），普及啓発事業（講演会開催，リーフレット配布）を行った。

（単位：回，人）

区分	事業名	実施回数	延べ人数	対象者
2年度	人材養成事業	10	238	市職員，関係機関職員，市民
	普及啓発事業	6	177	市民
3年度	人材養成事業	9	210	市職員，関係機関職員，市民
	普及啓発事業	5	192	市民
4年度	人材養成事業	11	234	市職員，関係機関職員，市民
	普及啓発事業	3	101	市民

※ゲートキーパーとは、うつや自殺の基本的知識を身につけ、相談業務等を通じて相手の心身不調に気づき、必要に応じて相談機関につないだり協働して自殺予防に取り組む人材をいう。

#### ⑤ ソーシャルクラブ（在宅精神障害者社会復帰相談指導事業）

在宅精神障害者の社会復帰を促進するため、グループ活動を通して対人関係・自主性の育成を図った。

（単位：回，人）

区分	加入者数	実施回数	延人数	内容
2年度	19	25	91	軽体操，絵画，勉強会 ミーティング等
3年度	16	22	64	
4年度	15	28	78	

⑥ 組織育成活動

◀「つばき会」活動状況▶

精神障害者家族会「つばき会」は、精神障害者に対する理解を深めるため、家族の交流、情報交換、勉強会を行っている。定例会には保健師等が参加し活動を支援した。

(単位：回，人)

区分	会員数	実施回数	延人数
2年度	18	0	0
3年度	18	0	0
4年度	18	0	0

◀「認知症の人と家族の会」活動状況▶

「認知症の人と家族の会」は、認知症の高齢者等に対する理解を深めるため、家族の交流、情報交換、勉強会を行っている。会には保健師等が参加し活動を支援していたが、会員の活動がむずかしくなり令和4年3月末で活動を終了した。

(単位：回，人)

区分	会員数	実施回数	延人数	内容
2年度	25	9	63	会員の交流，体験の発表 学習会，「家族だより」の発行，講 演会の開催
3年度	25	5	20	

⑦ 家族支援活動

ひきこもり家族に対しひきこもりに関する知識や情報提供を行い、本人への理解を深めたりグループミーティングを通して家族同士が共感しあい、孤立しないよう支援した。

◀ひきこもり相談▶

(単位：人)

区分	来所	電話（メール）	訪問	合計
2年度	27	38	52	117
3年度	14	61	23	98
4年度	23	95	29	147

(10) 指定難病・小児慢性特定疾病医療費助成制度

発病の機構が明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病である。当該疾病にかかることにより、長期にわたり療養を必要とするため、その医療費を助成した。

《指定難病受給者数（全338疾病）》

平成27年1月1日から難病の患者に対する医療等に関する法律により56疾病から110疾病に拡大され、以後順次拡大を続け、令和元年7月1日からは333疾病になり、令和3年11月1日からは338疾病になっている。

(単位：人)

区 分	2年度	3年度	4年度
受給者数	1,888	1,848	1,966

《小児慢性特定疾病受給者数（全738疾病）》

平成27年1月1日から児童福祉法の改正により514疾病から704疾病に拡大され、以後拡大を続け、令和元年7月1日からは762疾病となり、令和3年11月1日からは738疾病となっている。

(単位：人)

区 分	2年度	3年度	4年度
受給者数	259	272	222

(11) 難病相談事業

難病患者及びその家族のための講演会・相談会の開催や、保健師等による訪問指導を行い、不安の解消や日常生活上の支援を行った。

《難病講演会・相談会》 (単位：回，人)

区分	難病講演会		難病交流会	
	回数	参加人数	回数	参加人数
2年度	0	0	0	0
3年度	0	0	0	0
4年度	0	0	0	0

《訪問指導・面接相談》 (単位：人)

区分	訪問指導		面接相談
	実人数	延人数	人数
2年度	7	7	318
3年度	5	5	329
4年度	3	3	385

## (12) 電話相談

子育てに関すること、予防接種、疾病や健康管理、心の悩みなど、電話やメールによる相談に対応した。

(単位：件)

区分	総数	乳幼児 予防接種	妊産婦	成人	精神	結核	難病	歯科	その他
2年度	14,517	8,387	3,560	790	1,272	220	5	14	269
3年度	8,156	4,306	2,334	439	769	229	10	3	66
4年度	11,711	6,430	3,204	742	1,071	158	3	8	95

## (13) 保健所実習

地域保健行政における保健所・保健センターの機能を知り、業務の実際を習得するため、看護学生・助産学科学生・栄養学科学生・歯科衛生士学生の保健所実習を行った。

(単位：回, 人)

区分	2年度			3年度			4年度		
	回数	人数	延人数	回数	人数	延人数	回数	人数	延人数
看護学生	4	62	133	4	83	173	4	65	247
助産学科学生	1	7	14	1	8	16	1	8	16
栄養学科学生	0	0	0	2	12	60	3	17	85
歯科衛生士学生	0	0	0	1	10	10	1	10	10
総数	5	69	147	8	113	259	9	100	358